



マーケット・レポート

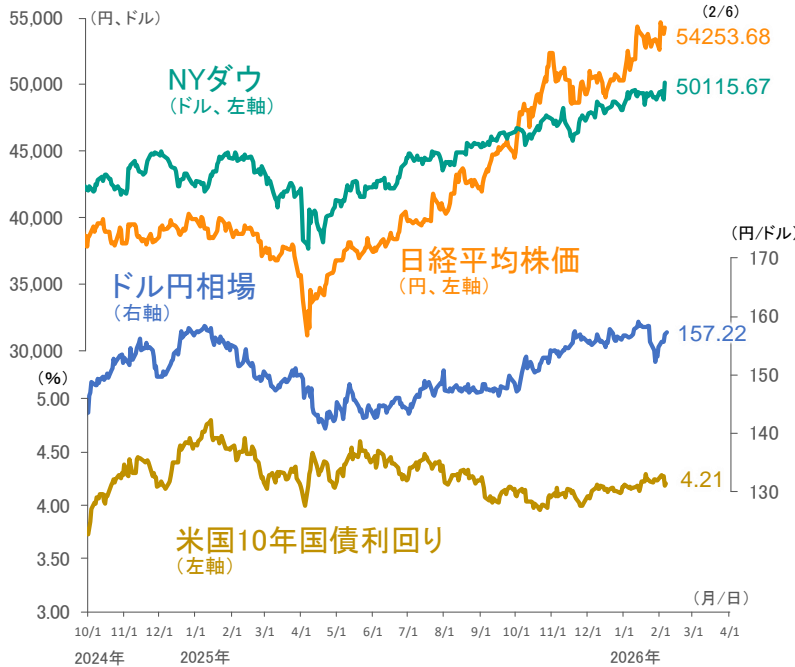
Weekly Guide

2026.2.9

りそなアセットマネジメントの
YouTubeチャンネルで、
音声付きの解説動画を
ご視聴いただけます！



主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

先週は、米ISM製造業指数が予想を上回る一方、米12月求人件数は約5年ぶりの低水準となるなど景気指標は強弱マチマチ。株式市場ではAI（人工知能）が既存のソフトウェア事業を代替するとの見方から関連企業の株価が続落し、主要指数の間で明暗が分かれる展開となりました。NYダウが週間で2.5%上昇し初めて5万ドルの台に乗せとなる一方、ナスダック総合指数は▲1.8%と4週続落で終わりました。債券市場では雇用指標の悪化を受けて米国の利下げ期待がやや盛り返し、10年国債利回りは米国が前週比▲3bpの4.21%、独は横ばいの2.84%、日本は同▲2bpの2.23%となりました。為替市場では1ドル=157円前半までドル高・円安が進みました。

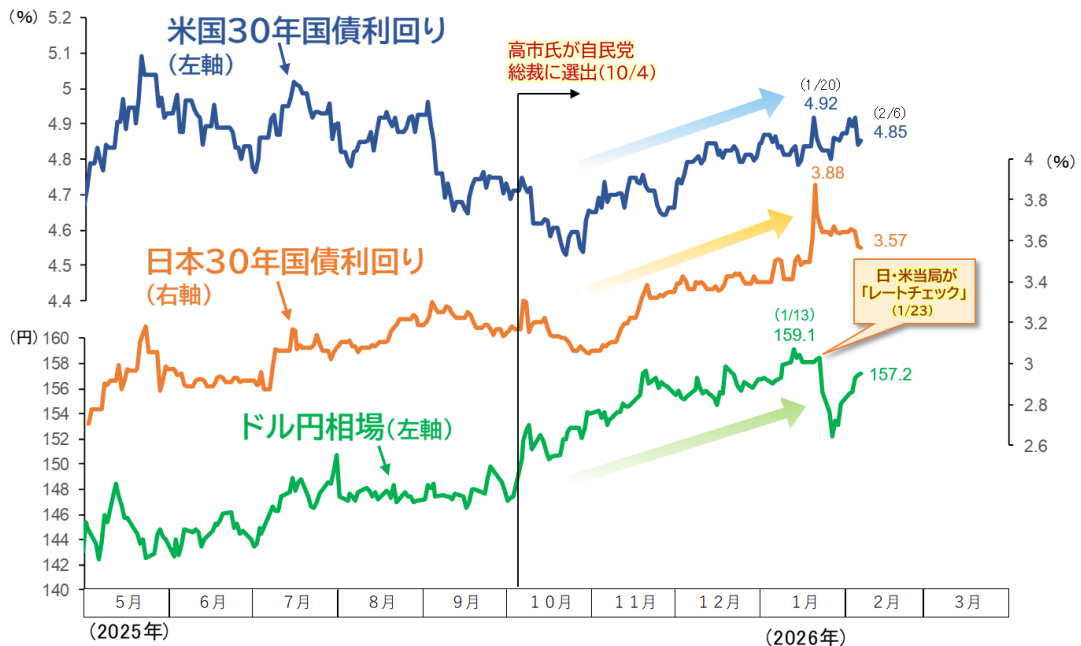
今週、海外では米雇用統計とCPIが注目材料となります。国内では選挙結果の消化が進むこととなります。消費減税など経済・財政政策に関する高市首相の会見内容に注目が集まります。

当面の注目イベント

- ◆日・12月実質賃金総額 (9日)
- ◆米・1月NY連銀期待インフレ率 (9日)
- ◆米・1月雇用統計 (11日)
- ◆日・1月企業物価 (12日)
- ◆米・1月コアCPI (13日)

～日・米主要企業10-12月決算発表～
ホンダ、マツダ(10日)、日産自動車、ソフトバンクG(12日)

8日の総選挙結果を受けて国内金利と円相場がどう反応するか注目されます。高市政権の成長重視の経済政策による財政悪化懸念が根強いことから、市場の信認を得るような政権側からのメッセージ発信が期待されます



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

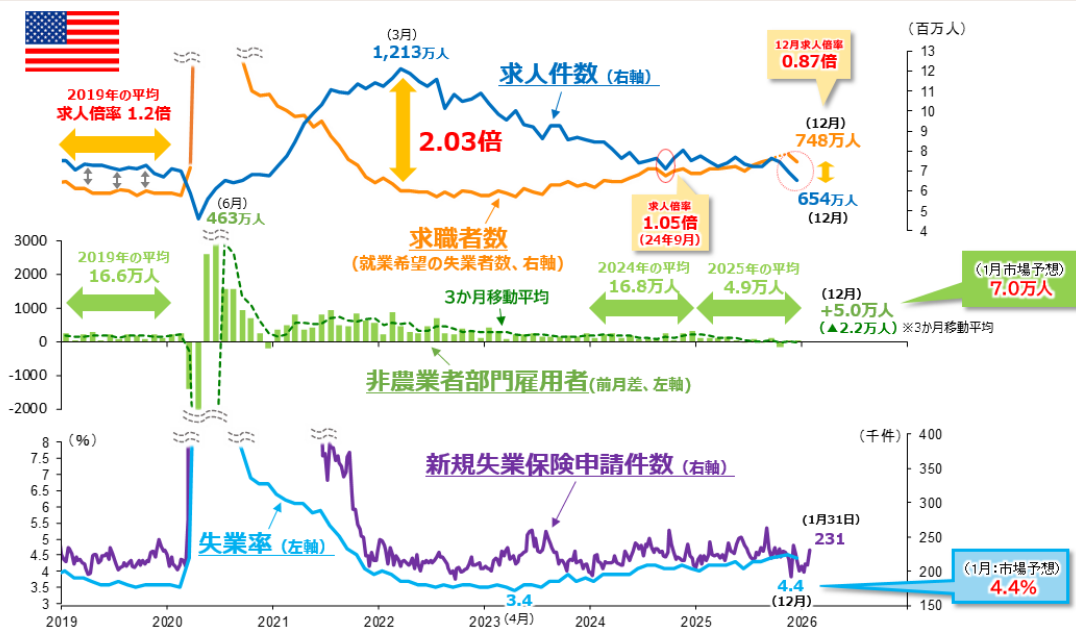
※最終ページの＜当資料に関するご留意事項＞を必ずご覧ください。



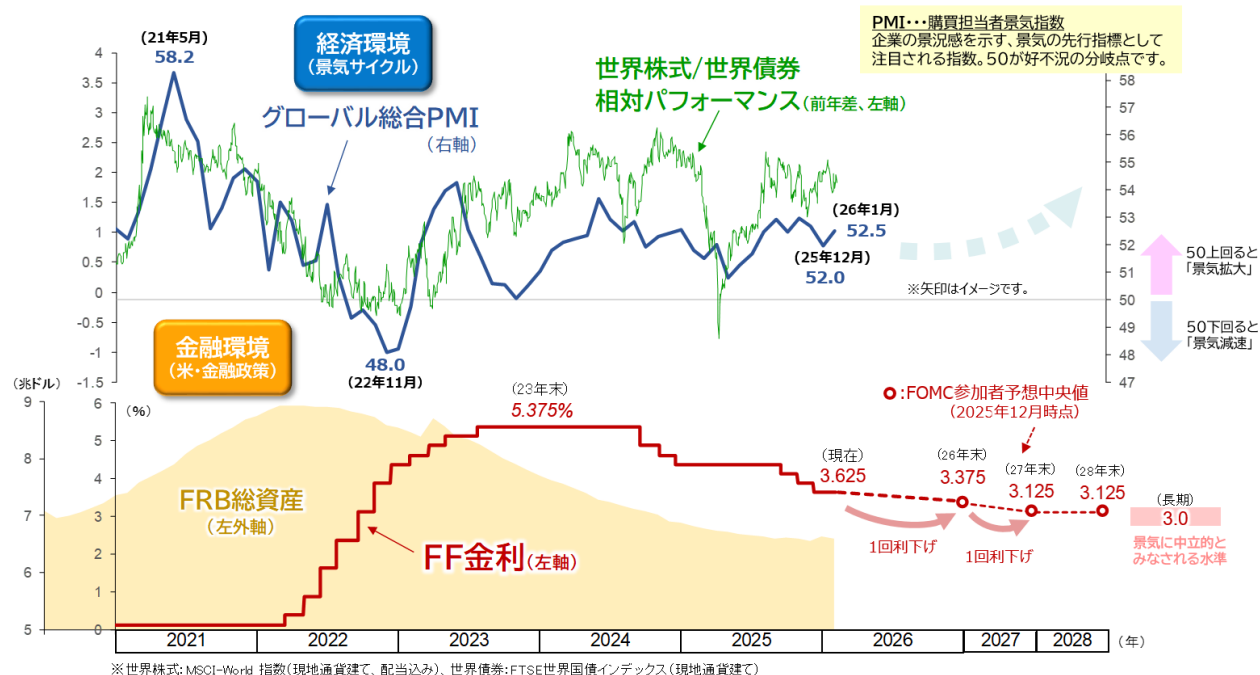
りそなアセットマネジメント

RESONA

米1月雇用統計が11日(水)に発表されます。求人数の減少やAI代替による人員削減が増加していることから弱めの内容となる可能性があります。予想を下回った場合、早期利下げ期待が再浮上するとみられます



世界景気の先行指標であるグローバル総合PMIの1月値が先週発表され、52.5と前月の52.0から改善しました。好・不況判断の分岐点となる50を36ヵ月連続で上回り世界経済の拡大継続を示唆しています



次回は 2026年2月16日 発行予定です

〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡しする「目論見書補完書面」を必ずご確認くださいのうえご自身でご判断ください。